



耐久 ~真健美~



平成26年度
和歌山県立耐久高等学校 全日制
Monthly Times September
マンズリータイムズ 9月号

◆ Science Partnership Project 事業について



本校では、数学分野の「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト事業」(SPP)を実施しています。SPPとは、生徒の数学に対する興味・関心と知的探求心等を育成することを目的とし、学校と大学等との連携により、数学に関する観察、実験、実習等の体験的・問題解決的な学習活動に対して支援を行っていく事業のことです。

1日(月)・2日(火)の2日にわたり、和歌山大学教育学部准教授川上智博先生を講師としてお迎えし、2年6組の生徒対象でSPP事業の一環で数学の授業を行いました。「円から生まれた曲線」をメインテーマに様々な曲線(サインカーブとハイポサイクロイド)について学びました。授業は「スピログラフ(特殊な定規)で様々な図形をかき三角関数を用いて式に表わす」ことを各グループで話し合いながら学んでいく形式の展開でした。当初、思っていた以上に、生徒たちは積極的に授業に取り組みました。



◆ 単車通学生のための講習会について

3日(水) 交通法規を守り安全な通学を行うため、単車通学生を対象に講習会が行われました。講習会では、講師の湯浅警察署交通課 榎本充孝氏より、交通マナーや交通ルールに関する話や交通事故の事例等の講話がありました。また、交通安全に関する映像も見せていただきました。本校では、単車通学は特別に許可した地域からの通学生にのみ認めています。このため、単車通学生は、運転マナー・運転技術ともに模範となるよう心がけ、安全に通学してくれることを願っています。

◆ みんなが主役の耐久文化祭について

「Let it go ありのままの私たち見せつけるのよ〜♪ みんなが主役の耐久祭」のテーマのもと、12日(金)・13日(土)の2日間文化祭が開催されました。1年生は展示、2年生は舞台発表、3年生はバザーと、どのクラスも工夫した取り組みが見られました。この他、文化クラブ(書道部・華道部・美術部の作品展示及び自然科学部の研究発表)、茶道部の茶会等、日頃の取組の成果を発表し、すばらしい取組内容が紹介されました。また、13日(土)の一般公開ではPTAバザーや作品展示なども加わり、地域の子供たちを含めたくさんの地域の皆様にお越しいただいて、賑わいのある充実した文化祭となりました。



◆ 学年懇談会について



昨年までの地区別懇談会に代わり、保護者対象の学年懇談会が開催されました。3年生は、17日(水)40名参加。1年生は、24日(水)98名参加。2年生は、25日(木)76名参加。それぞれ夜7時から1時間半程度の学年懇談会が開催されました。全体での出席者は合計214名でした。

懇談会の内容は、◎3年生懇談会は、卒業を半年後に控えて、センター試験の出願や就職試験が始まったこと等の進路についてのことが主な内容となりました。◎1年生懇談会は、耐久高校の来年度からの教育システム改革「学校改革・耐久Rebirth」の説明と①学級編成、②科目選択、③科目選択に関する今後の流れについてを主な内容に行われ、その後各学級別懇談会が行われました。◎2年生懇談会は、「生徒のもてる能力を最大限に引き出す」目的で行う学校改革、「耐久Rebirth」の説明があり、その後、各学級別懇談会が行われました。どの学年も耐久Rebirthについての興味や関心が寄せられました。



※「学校改革・耐久Rebirth」は、本校のホームページに掲載。URL ; <http://www.taikyu-h.wakayama-c.ed.jp/>